

平成26年度第1回花巻市博物館協議会 顛末

日 時 平成26年7月9日（水） 午後1時30分～午後3時

場 所 花巻市博物館 講座体験学習室

出席者

花巻市博物館協議会委員（9名）

大森 正志（東和小学校校長）

平賀 喜代美（花巻市地域婦人団体協議会顧問）

中島 健次（花巻市芸術協会会長）

伊藤 實（花巻史談会副会長）

佐藤 由紀男（岩手大学教育学部教授）

浅沼 昭男（大迫山岳会副会長）

佐々木 さつき（八重畑小学校学習アドバイザー）

平野 榮一（東和地区教育振興運動実践協議会会長）

高橋 久（前花巻市文化財保護審査会委員）

市側（7名）

高橋 信雄（花巻市博物館館長）

藤原 信悦（花巻市博物館副館長）

小原 克仁（花巻市博物館主任主査兼学芸係長）

伊藤 順子（花巻市博物館主任主査兼管理係長）

照井 弘道（花巻市博物館上席主査）

菊池 邦雄（石鳥谷歴史民俗資料館館長）

中村 萬敬（東和ふるさと歴史資料館社会教育指導員）

次 第

- ・辞令交付 教育長より各委員へ辞令を交付
- ・自己紹介 新任委員、再任委員、博物館職員
- ・会議成立報告

1 開 会 藤原副館長

2 挨拶 花巻市博物館館長

本日は、暑い中を出席いただきましてありがとうございます。

この花巻市博物館は、平成16年4月24日が開館日でありまして、今年10周年を迎えたわけでございます。6月に、入館者30万人を達成することができました。

10周年で30万人ということは、1年で3万人、市町村立の博物館としては、なかなか健闘しているのではないかと感じております。一昨年、「吉村作治の古代七つの文明展」、昨年の宮沢賢治没後80年の記念「藤城清治光のファンタジー」ということで宮沢賢治を中心に上げた展示会

に多くの方々にご来館いただきました。

そういうことで10周年を迎えて、やはり、今一度この博物館をどうしていこうか、次のステップに進んでいかなければならないという状況です。とりあえずは、10周年記念の展示会をどうするかということで、うちの博物館の主要な収蔵物でございます花巻人形を活かした展示会はどうだろうということ、人形の歴史、意外と今まであまりほかの館でも、こういう取り上げ方をしてこなかったのですが、いってみれば土偶や埴輪からリカちゃん人形までを見ようという、企画を7月からオープンする予定でございます。

もう1つには、ここの館が、オープンして10年になりますが、その当時はまだ旧花巻市でございました。ですから、うちの資料というのが、ほとんど旧花巻市の資料を所蔵しているという形でございます。

また、分館という位置付けになっておりますけれども、それぞれの地域にも資料館があるということでそれをどう有機的に結び付けていくかというようなことも、今後の次の10年間の大きな課題ではないかというふうに思っております。

ぜひ、皆様のご意見を聴きながら、よりよい方向にもっていきたいものだと思っております。

また、博物館が10年経つわけですが、当初から学校との連携というようなこと、博学連携と言いますが博物館と学校で子供たちとどう連携できるかということも、当初からずっとやっております。さらにこれをもうワンステップでも前に進めたら、どういうふうなことができるのかというようなことも、次に向かって進めていきたいと思っております。

委員の皆様方のご指導を受けながら、ぜひ、よりよい博物館、親しまれる博物館を目指していきたいと思っておりますので、いろんなご意見を賜れば幸いと思っております。

3 議 事

議 事 (1)

花巻市博物館協議会会長の互選及び会長職務代理者の指名についてを議題とする。

浅沼委員の佐藤由紀男委員を会長に推薦するとの提案に対して、他の委員の推薦及び異議もなく、決定する。

佐藤由紀男会長 議長就任

会長挨拶 ただ今、皆様のご承認をいただき会長に就任いたしました佐藤でございます。

2年間、よろしく願いいたします。前回も会長を務めさせていただいておりますし、挨拶いたしました。新しく委員になった方もいらっしゃいますので、同じような内容ですけれども、少しお話させていただきます。

博物館協議会というこの会は、博物館法第20条によって運営されている会です。多くの方がご承知のとおり法によって決められているということでございます。公立の博物館に置くことができるということです。置くことができるということですから、必ず置かなければならないということではないのですが、ただ、多くのこういう博物館、ここのように登録博物館、博物館登録法に登録されている法で博物館と決められているところでは、置くのが通例であります。

ただ、岩手県の場合には、必ずしも協議会を置いていない市町村もございますので、花巻市がいかにきちんと博物館を運営しようとしているか、その姿勢がこういったこと

からうかがわれると判断できると思います。博物館協議会は館長の諮問に応じるということ、館長に対して意見を述べるという2つが法で規定させている役割でございます。ここで何かを決めるという会ではなくて、意見を述べるという会でございますから、法の指示にしたがって、忌憚ないご意見を聞かせていただきたいと思いますと考えております。

会議終了後にはテーマ展の見学が予定されておりますので、お時間が許す方は、ご覧くださいますようお願いいたします。

議 事 (1) - 2

会 長 まず、会長職務代理者の指名を行います。

花巻市博物館協議会の会長職務代理者には、引き続き浅沼昭男委員に就任していただきたいと思っております。拍手でご承認をお願いいたします。

全 員 拍手

会 長 ありがとうございます。

ご承認されましたので、引き続きお願いいたします。

議 事 (2)

会 長 続きまして、議事(2)の平成25年度事業報告についてを議題といたします。事務局の方から、説明をお願いいたします。

小原主任主査 平成25年度博物館事業概要について説明

副館長 平成25年度博学連携推進状況のまとめについて説明

中村指導員 平成25年度東和ふるさと歴史資料館の事業実績について説明

石鳥谷館長 平成25年度石鳥谷歴史民俗資料館の事業報告について説明

会 長 ありがとうございます。

ただ今の説明について、ご質問、ご意見等ございましたら、発言をお願いします。では、最初に質問させていただきますが、出前授業ですけれども、博学連携の推進状況ですとメニューだとかプログラムをこちら側である程度つくって提示するような形で引き受けているというようなご説明だったように思いましたが、具体的な進め方としては、博物館の学芸員がそれぞれに合わせてメニュー、プログラムを提示して受け入れているのか、それとも、学校側の要望を中心に受け入れているのか、実際、どのような進め方をされているのかを伺いたいと思います。

副館長 出前授業のメニューの関係につきまして、今年の2月に文化財課の分と合わせて校長会議にメニューを提示しております。

その中で博物館で対応できるものを紹介させていただきました。先生方の取り組み方で1つの枠に収まりきれないこともありますので、個々、具体的内容など柔軟に対応したいと考えており、事前に先生方との打ち合わせを重点に取り組んでいるという状況でございます。

会 長 わかりました。そうしますと、全体的な取りまとめというわけではなくて博物館、文化財課のそれぞれでメニューに取り組んでいるという理解でよろしいでしょうか。

副館長 はい。大迫に総合文化財センターのメニューもございますので、それら合体した形で提示をしたということでございます。

会 長 了解しました。

こちらでは、博学連携の研究委員会で小学校の先生、中学校の先生のそうしたいろいろと研究をしながら進めています。文化財課の事業と連携していないのでしょうか。

副館長 博物館の事業と文化財課の事業と連携し、打ち合わせをするという段階にはまだ至っておりません。個々の取り組みの方が、強いという状況です。

会 長 今回の回答で、気になったのは博学連携関係がどうなっているのか。

要は、せっかく、そういった研究をしているのですから、それと花巻市関係が連携をして進めるようにしていただければと思います。

副館長 ありがとうございます。

平賀委員 支援学校の入館が増えたというのは先生の力は大きいということもありますが、口コミも大きかったと思います。逆に高校生が少ないということは高校の先生の生徒への働きかけが何もなかったのか。

副館長 支援学校につきましては、ポスター掲示のお願いに行ったりはしましたけれども、ほかに特別に無料招待などの取り組みなどはいたしておりませんでした。

学校につきましても、チラシ、ポスター、それから藤城清治展につきましては、市内の小中学校には事前に申し込みをしていただければ割引価格にしますという主催者側の岩手日報社とIBCから案内文書があり、校長会議等を通じて案内をしたという経緯がありました。申し込みは、直接、岩手日報社の方ということで、事前の申し込みで博物館が窓口でありませんでしたので、効果がどの程度であったかは把握していない状況です。

平賀委員 事前にか日報社の方に連絡とか、手続きが結構面倒ですね。簡単に「この券があれば博物館に行って安く見られる」という券があれば良かったのかなと思います。

副館長 改めて、省みますと、そういう券もあれば良かったのかと感じております。

博物館としては、主催ではなく貸館という形での展示会で、減免の配慮、企画展の周知等不慣れなところもあったと感じております。

これにつきましては、また今後、こういった同様の機会がありましたなら、さらにもう少し事前に広く周知できるようやっていきたいと感じているところです。

高橋委員 平賀さんが言うように素晴らしいので孫を連れて3回行きました。あのくらい人数が入っていますから、すごいと感じたところでもあります。30万人達成セレモニーは行けなかったのですが、あの展示会で入館者が一気に上がって、それが大きかったのかなと思っております。わたしが学生時代に藤城清治、木馬座というのがあり、憧れて東京まで見に行ってきたくらいで、間違いなくすばらしいと思いました。孫たちに話したら、子供たちも何回も来たようですので、これは良かったと思っております。あのような企画展は、やっぱり日報社だと思いました。

質問ですが、10ページの出前授業のところですが、小学校、中学校とか団体のところに主に行くのが主ですが、不思議だなと思ったのが、花南地区のコミュニティ会議で12人、花南の歴史再発見とありますが、どんな人たちが来て、どんな話をして、成果はどうだったのでしょうか。これが広がってくるといいと感じたんですが。コミュニティ会議って、そっちこっちにありますから、そういう人たちが一生懸命こうやってくれ

るといいですね。

花南地区には、教育長も入っていますから、そういったところの取り組みかなと思ったりしていますが、いかがでしょう。

副館長 酒井学芸員が対応しましたけれど、確かこの花南のコミュニティ会議では地元の歴史を学ぶということで、対応したように記憶しております。

高橋委員 宿内遺跡花巻競馬場資料で紹介したコミュニティ会議の人たちが参加したわけです。このようなものが広がっていけばなあという感じがします。

伊藤委員 学校では忙しいとは言っているけれど、まず学校の先生方に見てもらい、子供たちに見てもらおう。7月～9月とか期間を設けて先生方を動かすことが大切だ。平賀さんの意見に賛成です。そして、花巻城と城下町についてももっと知ってほしい。

副館長 先生方を動かすということにつきましては、その通りだと思います。7月26日から人形展記念企画展を予定いたしております。昨日、校長会議がありまして、人形展のご案内をしまりました。招待券も配り先生方にもまず、見て貰いたいと思っております。

高橋委員 校長は館長の権限で無料になるというのはいないですか。

副館長 子供たちは、ふるさとパスポートなどがあるので、それを利用していただければ無料で入館することはできます。それ以外で無料というのはちょっと、工夫していかなければいけないと考えてはおりますが、学校の先生方を通じて生徒に博物館に来たい、というような取り組みにつきましては、継続してまいりたいと思っております。

会 長 ほかにいかがでしょうか。

よろしければ、以上をもちまして、議事（2）平成25年度事業報告を終了いたします。

議 事（3）

会 長 続きます、議事（3）平成26年度事業計画について議題といたします。事務局から、説明をお願いいたします。

副館長 皆さんには、年間行事予定案内のリーフレットをご覧いただきたいと思えます。非常に簡単で恐縮ですが、平成26年度の博物館、それから分館の行事予定が載っております。

博物館として、特に今年力を入れておりますのが、7月26日～9月28日までの開館10周年企画「人形の歴史～込められた想い～」であります。また、東和ふるさと歴史資料館の取り組みについては、特別企画展を、ここ花巻市博物館の展示室を使ってと考えているところでございます。それから、講座等につきましても、例年のとおり予定しております。

弓矢火起し体験は、年1回でしたけれど、好評でしたのでこれを2回に対応する計画でございます。

新たな取り組みとしては、人形展に関係して「こけしの絵付け」とか、「夢灯りづくり」等取り入れているところでございます。

会 長 ありがとうございます。ただ今の説明について、ご質問、ご意見等ございましたら、発言をお願いいたします。

中島委員 質問ではないのですが、このパンフレットには大迫の文化財センターは載っていない。博物館とは組織も違うのですが、花巻全体の行事が掲載されたパンフレットがあれば

ばいいのでは。

副館長 総合文化財センターの方は、文化財課が管理しておりますが、特にまとめたりしたことはございませんでした。今後は協議しながら、同じ分野でありますので、連携した、1枚にまとめてやるとか、行事まで全部記載したパンフレットの作製も検討したいと思います。

会長 ほかには、いかがでしょうか。

平賀委員 あの「人形の歴史」、どんなのか、まだ詳しくは読んでいないのですが。

ちょうど夏休みの期間が入っているので、子供会行事でいろんな方から相談されることがあり、「面倒くさい」というお母さんとかいて、「もういいか温泉に連れて行くか」と言われるとがっかりします。子供会で、親子で博物館を見学する1日があったら最高なのだと思います。ぜひ宣伝してほしいなという意見です。

副館長 ありがとうございます。

佐々木委員 学校関係の周知は、中学校を含め、結構、資料を持って帰ってくるのですが、そういう地域の団体、老人クラブも含めて子供会など、そういうところにも周知すると、こういうものがあるというので利用する方が増えるのではないかと思います。周知するには、お金が関わってくるでしょうから、パンフレットの数だとか、そういうところの兼ね合いもありますので、何か工夫して、お知らせしてもらえればと思います。

副館長 今、夏休みのお話でしたので説明いたします。子供会行事としては、博物館では夏休み期間中や5月の連休など、集中して勾玉作りや琥珀玉作りなど、予定を組んでおります。今回も、子供会という大きな団体ではありませんが、グループで勾玉、琥珀玉づくりをやりたいということで申し込みもごさいます。要望があれば、予定外でも対応できることもあるかもしれませんので、そういう際には、ご遠慮なく博物館の方にご相談、電話をいただきたいと思います。

会長 ありがとうございます。

浅沼委員 先ほど、中島委員さんからもあったのですが、総合文化財センターの関係で、「ぐるっと花巻！再発見」共同企画展は、今年度も予定されているようなのですが、同じ時期に今年度の共同企画展でも、連携して展示をしていただければいいのではないかと思います。

館長 今度の10周年企画展では、学校もさることながら、夏休みということで、1つは博物館資料というか、展示会を親子ないし、家族で見てほしい。1つの物、例えば、リカちゃん人形だったら「お母さんが使ったんだよ」という1つのコミュニケーションだけじゃなくて、ある程度歴史が好きだった方が埴輪と土偶がどう違って人形にどうつながるのか、これは家族でぜひ見て欲しい。学校で子供たちが見ると言うよりも、むしろ、家族の中での交流にぜひ使ってもらいたいという意味では、今までこれだけ幅広い展示会は、みんな何でもかんでも集めたように一見見えるのですが、これを博物館で場所を提供するから、ぜひ、この機会に世代間の交流を図ってほしいなあという意味がありまして、夏休みにこの展示会を設定したということでごさいます。是非、そういう場に使ってほしいと思っております。

平野委員 今度の10周年企画展「人形の歴史」、わたしも、大変楽しみで、ぜひ見させてほし

いと思っております。倉沢人形歌舞伎を入れて欲しいという願いがあったので、入っていることが確認できましてうれしいです。

館長 実は、大迫は、これ考える前からいっぱい土偶が出ており、まず埴輪は別として、花巻人形もあるし、石鳥谷は、青い目の人形も話題になったなあとか、そうすると、東和町はやっぱり倉沢人形歌舞伎。これは場所を別にとっていて、講演も実際にやってもらい、映像も流すということで、1つ花巻全体をある程度意識して、展示の計画を立てました。

平野委員 ありがとうございます。そういう意味で楽しみにしております。

倉沢歌舞伎の展示物は、博物館、東和ふるさと歴史資料館の物なのか。個人のものでしょうか。何かこう人形歌舞伎の人形なりの収集、資料収集的な物でしょうか。

博物館としての物はないでしょうね。

館長 館ではないです。今度の展示会には人形は並べますが、博物館の所有物ではない。お借りしてくるということです。

会長 10周年ということで「人形の歴史」10周年記念企画展が行われるわけですけど、これは、内容からして学芸員が完全に企画をされてやる内容だと思います。

どこの博物館、美術館でもそうなのですけども、企画を買うというような形ですとか、貸館をするというような形と、学芸員が主体となって企画をつくるというのがあって、その2つがうまく組み合うことで博物館が運営されているのが、最近では増えておりますけれど、かつては、歴史系の博物館は、ほとんど学芸員側が企画をすることだったのですが、昨年度を見ますと、北斎漫画展とか光のファンタジーは、そうした貸館ですとか企画を買うという形でされたものだと思います。

入館者だけのことを考えますと博物館ですとか、美術館、県立美術館でも全国をまわっている企画展のものをある意味、購入してやっていくという方が儲かったりするのですが、それが必ずしも地域の歴史と深く関わっていくとは限りませんし、博物館をきちんと運営していく上では、やはり地域の支援ということが、きわめて重要になっていきます。もう1つは、学芸員の力量とか、当然ながら極めていかなければいけないわけで、学芸員の力を高めていく上でも、やはり、こうした10周年のときに自分たちの企画をとういことは、大変すばらしいことだと思いますし、また博物館、岩手県内にある博物館や美術館も、ぜひ見習ってもらいたいものだというふうに考えております。そういった意味では、こういったところを十分、今後も考えていただいて自分たちで企画するものと、そして貸館ですとか企画を買い取ることの按排をやっていただければと思っているところであります。10周年でこうした大きな企画をされるということは、とてもすばらしいと考えておりましたので、意見を申し上げさせていただきました。

それ以外でいかがでしょうか。

平賀委員 つい先日、大船渡の博物館に見に行きました。そしたら、津波の写真をたくさん展示してあって、結構、多くの方たちが見に来ていました。水曜日だったのですが、小さい子供たちも、親子連れで結構来ていました。子供たちの様子を見たら、すごく楽しいそうなんです。なんで、そんな風を楽しそうに博物館で小さい子がいるのかと思ったら、鳥だとか花だとか、昔の恐竜みたいなとかのゴム印をスタンプラリーの紙に押すのが

楽しいようでした。こういうものが沢山あって、自分たちが興味のあるものに触れて博物館であんなに楽しそうにしているのを見たことがなかったので、ちょっと興味を持って見ていました。

災害の写真展っていうのも、はじめは、ちょっと博物館の展示とは違うと違和感がありましたが、実際、この地域で起きたことですから見てみたら、興味深く、違和感は感じませんでした。小さい子も楽しめる、なんかそういうアイディアもいいかなと思います。

会 長 参考にしていただければよろしいかと思います。

ほかにいかがでしょうか。

以上をもちまして、議事（3）平成26年度事業計画については終了いたします。

議 事（4）

会 長 議事（4）その他に移らせていただきます。委員の皆様、あるいは事務局から何かあれば、発言をお願いいたします。

平野委員 先日、30万人達成の式典に参加させていただきましたが、提示している資料とあのかきは三画人の展示があって楽しく拝見いたしました。いろんな博物館に行くと特別展に展示したもののコピーしたものとか写真とか絵はがきとか売っている場所とかがあり、見学して素晴らしいな欲しいなと思った絵葉書を買求めることができるのですが、そのような所が、当博物館にはないわけですが、その辺のところは、運営上、別組織になるかもしれないのですが、あればいいなあと個人的には思ったのですが。

館 長 一応は、考古分野、美術分野、多田等観わけて数枚ずつ記念用の絵葉書は売っております。

それと開館して最初の企画展の「盛岡南部家20万石の美」という図録があります。今回、久しぶりの人形展の図録ですが、今までの図録も、受付で販売しているようになっておりますし、花巻市関係の文化財のものも、できるだけ受付のところで販売するようにしておりますので、そちらでお買い求めいただければと思っております。

本当を言うと、毎回のようにどんどん増やしていけばいいのですが、売れきれないうちは次のものが出てこないのですけれど、一応、10年の中で10種類くらいの絵葉書をご用意しております。

会 長 ほかに、何かありますか。なければ、これをもちまして、議事の一切を終了させていただきます。

10周年ということで、大きな企画展もありますので、期待をしております。

では、事務局の方に返させていただきますので、よろしく願いいたします。

4 その他

副館長 ないようですので、以上をもちまして、平成26年度第1回花巻市博物館協議会を閉会させていただきます。

以上で会議終了（企画展見学へ移動案内）